

## 「平和的生存権」の射程

—国際動向・歴史・教育・ジェンダーなどの視点から研究のあり方を考える—

日時：12月1日 14:00～17:30

場所：中央大学多摩キャンパス（東京都八王子市東中野742-1）7号館7F 7403室

**設置趣旨**：日本国憲法前文に明記された「平和のうちに生存する権利」（以下、平和的生存権）は、多様に豊かな生を選びとることのできる私たちの権利であるにもかかわらず、日本および国際社会に現存する問題は、その行使に高い障壁となって立ちはだかっています。分科会では、以下の点を中心に議論したいと思います。①「平和的生存権」をキーワードとして、国際動向・歴史・教育・ジェンダーなどの視点で現実の問題を浮かび上がらせる。②それぞれの研究領域・問題設定と日本国憲法の価値規範（平和的生存権の実現）との接点を確認し、憲法を研究や生き方にどう生かせるかを考える。

座長：久米鏡花（東京大学院生）、池上幸江（大妻女子大学名誉教授）

14：00－14：05 開会あいさつ 真嶋麻子（津田塾大学）

14：05－14：35（1）金子 勝（立正大学）：

### 「平和的生存権」の普遍化を求めて

14：35－15：05（2）本庄十喜（公益財団法人政治経済研究所）：

### 平和的生存権としての戦後補償－歴史的文脈からどう捉えるか－

15：05－15：35（3）広井暢子（日本共産党女性委員会責任者）：

### 女性の人権と平等の課題について－世界の変化・到達点、そして憲法がうたう平等

15：35－15：45 <休憩>

15：45－16：15（4）真嶋麻子（津田塾大学）：

### 「平和的生存権」をめぐる国際社会の動向

16：15－16：45（5）中島明子（和洋女子大学）：

### 日本における居住貧困－平和的生存権の基盤としての人間らしい住まいを求めて－

16：45－17：25 総合討論

17：25－17：30 閉会あいさつ 石渡真理子（ミズ分会）

**参加費**：一般 1000 円、学生院生 500 円（全日程を通して有効です）

**主要駅から中央大学多摩キャンパスまでのアクセス**

●●多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』から徒歩1分 ※モノレールは下記の駅で接続

・JR 中央線「立川駅」・京王線「高幡不動駅」、「多摩動物公園」・小田急線・京王線「多摩センター駅」

●京王線『多摩動物公園駅』から徒歩10分

他に小田急線・京王線「多摩センター駅」、JR「豊田駅」からバスの便もあります

**学内マップ**：<http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/tama/> をご覧ください。

7号館はキャンパスの1番奥ですので、時間の余裕をもっていらしてください。

**連絡先**：日本科学者会議東京支部 第17回東京科学シンポジウム実行委員会

Tel/Fax:03-3811-8281、ホームページ <http://jsa-t.jp/>

第17回東京科学シンポジウム 3rdサーキュラーもご覧ください。